

インフラの町医者をめざして

建設トップランナー倶楽部(和田章代表幹事、米田雅子代表幹事)は7月2日、第8回建設トップランナーフォーラムを日本建築学会建築会館ホール(東京都港区)で開く。太田昭宏国土交通大臣、林芳正農林水産大臣、古屋圭司内閣府特命担当大臣(国土強靱化、防災担当)を来賓に迎えるほか、「インフラの町医者をめざして」をテーマに、全国から地域建設企業の気鋭のリーダー12者の取り組みが事例発表される。また、パネルディスカッションには、古田肇岐阜県知事、大石久和国土技術研究センター理事らがパネラーとして参加。今回のテーマである「インフラの町医者」としての地域建設企業の役割を掘り下げる。(3面に関連記事掲載)

第8回建設トップランナーフォーラム

太田国交相ら3大臣が出席

今回のフォーラムは「連携が新しい価値を生む」「複業により地域を活性化する」「災害から地域を守る」「老朽化から社会インフラを守る」の4部構成。各部のテーマごとに3者が事例を発表し、全体で12者が各地域での進取な取り組みを紹介する。

また、パネルディスカッションでは、古田肇岐阜県知事がキーンノートスピーチをするほか、国土技術研究センターの大石

久和理事長、愛媛(愛媛県)の西山周社長、日本青年会議所の田井慶一郎(2013年度建設部長)を交え、老朽化した社会インフラの維持・改修、新たな産業や雇用の創出など、地域を守る「町医者」としての建設企業の役割について語り合う。コーディネーターは米田雅子代表幹事(慶應義塾大学特任教授)が務める。共催は日本青年会議所建設部会。後援は全国建設業協会、日本プロジェクト産業協会、建築技術支援協会、地方建設記

者の会。会費は無料(別途資料代1000円/冊)。参加希望者はホームページ(<http://www.kentop.org/>)の申込フォームから申し込む。同フォーラムの模様はインターネット実況中継(ustream)でも視聴できる(前同)。フォーラム終了後には同じ会場で交流会(懇親会)が開かれる。参加者は会費5000円が必要。

問い合わせ先は建設トップランナー倶楽部事務局 電話03(5876)8461。

全国の気鋭のリーダー12者が事例発表

建設トップランナー倶楽部

フォーラムのテーマを説明

「1面関連」建設トップランナー倶楽部(和田章代表幹事、米田雅子代表幹事)の米田雅子代表幹事と幹事会の代表は14日、7月2日に開催される第8回建設トップランナーフォーラムの開催説明に国土交通省と農林水産省の幹部を訪ね表敬した。一行は同フォーラム

のテーマである「インフラの町医者をめざして」について説明するとともに、進取の気概あふれる地域建設企業の取り組みを紹介した。

国土交通省の菊川滋技監(写真中央)は「国土交通省の示すベクトルと同一である」と同フォーラムのコンセプトに賛同

したほか、西脇隆俊総合政策局長は、自身が携わった新分野進出施策が大きく展開していることについて「当時を振り返ると感慨深い。非常にうれしく思う」と述べ、さらなる拡大を期待した。

一行はこの後、農林水産省を訪れ、皆川芳嗣事務次官、沼田正俊林野庁長官らを表敬した。

当日に表敬訪問した国土交通省の幹部は菊川滋技監、西脇隆俊総合政策局長、佐々木基土地・建設産業局長、足立敏之水管理・国土保全局長、深澤淳志技術審議官、日原洋文建設流通政策審議官、谷脇勝総務課長他。

米田雅子代表幹事の同行した幹事会の代表は長瀬雅彦氏(岐阜県・長瀬土建)、深松努(宮城県・深松組)、杉山文康(岐阜県・杉山建設)、内山雅仁氏(宮城県・内山建設)、丹羽庸介氏(愛知県・鈴鍵)。

